



大分大学が「オープンアクセス加速化事業」  
に採択されたことを機に誕生した  
イメージキャラクター

# 大分大学における研究データオープン化の取組み



旦野原キャンパス 図書館



図書館内 展示スペース

# マスタースケジュール

実施項目	FY2024									FY2025							
	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
情報収集(学外)				⇄ 先行他大学 ⇄				⇄ 内閣府 ⇄									
ヒアリング(学内)			⇄ 各学部代表者 ⇄														
先行事例調査					⇄ USU ⇄												
ストレージ導入			⇄ 要求仕様検討 ⇄			導入	⇄ 運用マニュアル整備 ⇄										
トライアル									⇄ 福祉健康科学部 ⇄		改善	⇄ 全学部への展開 ⇄					
教育・研修					⇄ 導入予告偏 ⇄		質問 収集	⇄ 基本事項偏 ⇄		質問 収集	⇄ 運用マニュアル・FAQ ⇄						

# 研究データOAの推進で強く意識したことへのアクション

切り口	アクション
分かりやすさの徹底による 包摂性の確保	全研究者を対象に底上げを重視 ※リスク回避を最優先
独自解釈/ローカルルールの ゼロ化	オリジナル教材による複数回講義 +質疑応答へのタイムリーな対応
導入後のリスクの最小化	SIPでのデータ利活用議論の反映+ アンケート準備過程情報のセット化
確実に定着させるための早い段 階での学内キーマンの巻き込み	学内トップランナーとなる部局育成 →修正・整備・最適化・全面展開
最新情報の先取りによる 近未来への準備	海外先進事例(米国)の調査

# 研究データオープン化の基本方針→“5 S ステップ”の切り口で活動開始

5Sとは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「習慣」の頭文字のSをとったもの。

現在の  
立ち位置  
(‘25/5)



切り口	目的	アクション(一部は予定)
整理	オープン化対象の研究データを抽出する	(済)研究データ保管の現状把握 (済)対象研究データの明確化
整頓	研究データアクセスのわかりやすさを実現する	・システムに対する要求品質の明確化 (済)全学視点/研究者視点での要望の抽出
清掃	研究データへのタイムリーな対応を徹底する	・登録時/登録後タスクの見える化 ・公開/非公開・退職/異動時対応の具体化
清潔	使いやすい状態を将来にわたって維持する	・保管後アクションの見える化/自動通知 ・要望/ヒヤリハット起点の継続的改善
習慣	全関係者がきれいに使うように習慣づける	・導入前教育→導入時教育→定点観測 ・研究データ登録週間の設定

使いやすい状態を作る活動



改善活動



KPI設定検討中

## 研究データOAの注意点として説明している内容

以下、ご留意ください。

- ・「データの共有」は「**研究アイデアの共有**」ではありません。
  - ・公開対象は**データ(単なる数字の羅列・生データ)**です。  
**データベースは著作物のため対象外**です。
  - ・**公開対象は国費を使った研究(科研費やAMED・JSTが資金提供したもの)**です。**民間資金の研究(=受託研究や共同研究など)は対象外**です。
  - ・**公開に適さないデータは非公開の扱い**とすることが必要です。
  - ・調査時に被験者に説明した目的と異なる利用が想定される場合や著作者人格権の手続が不適切な場合、**(著作性のある)項目(インタビューのセリフやコメント[=作文]、イラスト等)**は公開できません。
- アンケート調査で被験者に説明した資料も公開が必要**です。

## 検討課題

- データとデータベースの分離
- データに含まれる潜在的なリスクへの対応
- ※アンケート記載文の著作権  
カルテ・診断結果などの個人情報  
(AIによる抽出法を別途開発中)
- 定期的な教育の実施
- 研究データOAの将来のアップグレードへの対応
- 研究分野別の分化の違いへの対応